

十二 暫

○「辯證書を出さるるふるは
る。當寒株支給の事に於ける
合意共済内火漆玉鑄造會道善である
る。各該協合議員懲罰費適當

○「事站辦賞與空賃起賞與才變更

○「資金の三層並上

○「金額因る

○「紙幣空銀の同種換合の弊害」を本ハイタ類旨も「武
特種の通貨より外率或ひ鑄金鑄武庫鑄銅鑄瓦鑄鐵會鑄鐵等八
種上本電一空銀表丁或ひ鑄銀表夫鑄宋某創始丁金鑄丁銀丁金
○「資金鑄上も會換銀賞賛合ア邓鑄中之廢品有興味興濟より
會換利廢銀賞賛より「全廢銀表の半減の經」平銀八錢六錢

機関處會福岡出張所

法人協調會福岡出張所

坑夫廣末某が同志約二十名を獲得しそネットを敢行せんと策
動し居りだるを察知した會社側は首謀者廣末某の家庭的窮状
を内査し秘かに現金參百圓を以て懷柔に努める一方指導者に
對しても極力切崩に奔走したのであるが何れも効なく寧ろ從
業員の態度を硬化せしめる結果となり二月十九日早朝組合幹
部並に廣末等は二番方の出坑を待ち稼働者の集合を行ひたる
も僅か十六名更に同夜一番方の昇坑者にも集合を行ひたるが
之亦八名に過ぎず遂に計劃せるゼネストは失敗に終つたので
ある。

會社側は從業の懷柔策を一變し不平稼働者の要求に基き積極
的に代表と會見し會社側の意見を述べ之に從わざれば全員解
雇の決意を固め翌二月二十日正午勞資代表會見したる結果午
後四時に至り左記條件を以て解決するに至つた。